【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公開番号】特開2016-223242(P2016-223242A)
【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)
【年通号数】公開・登録公報2016-070
【出願番号】特願2015-113147(P2015-113147)
【国際特許分類】
Ｅ０２Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｆ０１Ｎ　3/08　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０２Ｆ　9/00　Ｑ
Ｅ０２Ｆ　9/00　Ｄ
Ｆ０１Ｎ　3/08　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月30日(2018.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下部走行体と、該下部走行体上に旋回可能に搭載された上部旋回体と、該上部旋回体の前部に俯仰動可能に設けられた作業装置とからなり、
前記上部旋回体は、旋回フレームと、該旋回フレームの後側に搭載され油圧ポンプを駆動するエンジンと、前記旋回フレーム上に設けられ前記油圧ポンプに供給される作動油を貯える作動油タンクと、該作動油タンクの前側に隣接して前記旋回フレーム上に設けられ前記エンジンに供給される燃料を貯える燃料タンクと、前記エンジンの排気管に接続して設けられ排気ガス中に含まれる窒素酸化物を除去するＮＯｘ浄化装置と、該ＮＯｘ浄化装置に供給される尿素水を貯える尿素水タンクとを備え、
前記旋回フレームは、底板と、前記底板の左，右方向に所定の間隔をもって前，後方向に延びた左縦板および右縦板と、前記左縦板と前記右縦板の前側部位を連結する前板と、前記底板及び前記左縦板から前記底板の左側に張出した複数の左張出しビームと、前記底板及び前記右縦板から前記底板の右側に張出した複数の右張出しビームと、前記複数の左張出しビームの各先端部に接合されて前記底板の左側を前，後方向に延びる左サイドフレームと、前記複数の右張出しビームの各先端部に接合されて前記底板の右側を前，後方向に延びる右サイドフレームとにより構成される建設機械において、
前記燃料タンクには、外部の燃料貯蔵源に貯えられた燃料を前記燃料タンクに供給する燃料供給ポンプが接続されており、
前記燃料供給ポンプには、燃料を吸込む燃料吸込口が接続されており、
前記尿素水タンクには、尿素水の給水口が設けられており、
前記旋回フレームの右前部には、前記旋回フレームの左，右方向に広幅な開口を有する収容ケースが設けられており、
前記収容ケース内の収容空間は、前記収容ケース内に設けられた仕切板により前記旋回フレームの左，右方向の右側である前記右サイドフレーム側に位置して前記尿素水タンクが設けられるタンク用空間部と、前記旋回フレームの左，右方向の左側である前記右縦板側に位置して前記燃料供給ポンプが設けられるポンプ用空間部とに分けられており、

前記ポンプ用空間部には、前記燃料吸込口が前記開口から外部に開口して設けられており、
前記タンク用空間部には、前記給水口が前記開口から外部に開口して設けられていることを特徴とする建設機械。
【請求項２】
前記収容ケースには、後側を支点として開，閉する開閉カバーを設け、
前記燃料吸込口と前記尿素水の給水口とは、前記開閉カバーを開いた状態で前方から補給作業を行うことができる位置に配置する構成としてなる請求項１に記載の建設機械。
【請求項３】
前記収容ケース内には、前記燃料供給ポンプの動作スイッチを前記燃料吸込口の近傍に位置して設ける構成としてなる請求項１または２に記載の建設機械。
【請求項４】
前記燃料吸込口から前記燃料タンクへの流路の途中には、燃料中の異物を除去するための燃料フィルタを設け、
前記収容ケース内には、前記燃料フィルタの目詰まり状態を表示する目詰まり表示器を設ける構成としてなる請求項１，２または３に記載の建設機械。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明による建設機械は、下部走行体と、該下部走行体上に旋回可能に搭載された上部旋回体と、該上部旋回体の前部に俯仰動可能に設けられた作業装置とからなり、前記上部旋回体は、旋回フレームと、該旋回フレームの後側に搭載され油圧ポンプを駆動するエンジンと、前記旋回フレーム上に設けられ前記油圧ポンプに供給される作動油を貯える作動油タンクと、該作動油タンクの前側に隣接して前記旋回フレーム上に設けられ前記エンジンに供給される燃料を貯える燃料タンクと、前記エンジンの排気管に接続して設けられ排気ガス中に含まれる窒素酸化物を除去するＮＯｘ浄化装置と、該ＮＯｘ浄化装置に供給される尿素水を貯える尿素水タンクとを備え、前記旋回フレームは、底板と、前記底板の左，右方向に所定の間隔をもって前，後方向に延びた左縦板および右縦板と、前記左縦板と前記右縦板の前側部位を連結する前板と、前記底板及び前記左縦板から前記底板の左側に張出した複数の左張出しビームと、前記底板及び前記右縦板から前記底板の右側に張出した複数の右張出しビームと、前記複数の左張出しビームの各先端部に接合されて前記底板の左側を前，後方向に延びる左サイドフレームと、前記複数の右張出しビームの各先端部に接合されて前記底板の右側を前，後方向に延びる右サイドフレームとにより構成されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
そして、上述した課題を解決するために、本発明が採用する構成の特徴は、前記燃料タンクには、外部の燃料貯蔵源に貯えられた燃料を前記燃料タンクに供給する燃料供給ポンプが接続されており、前記燃料供給ポンプには、燃料を吸込む燃料吸込口が接続されており、前記尿素水タンクには、尿素水の給水口が設けられており、前記旋回フレームの右前部には、前記旋回フレームの左，右方向に広幅な開口を有する収容ケースが設けられており、前記収容ケース内の収容空間は、前記収容ケース内に設けられた仕切板により前記旋回フレームの左，右方向の右側である前記右サイドフレーム側に位置して前記尿素水タン

クが設けられるタンク用空間部と、前記旋回フレームの左，右方向の左側である前記右縦板側に位置して前記燃料供給ポンプが設けられるポンプ用空間部とに分けられており、前記ポンプ用空間部には、前記燃料吸込口が前記開口から外部に開口して設けられており、前記タンク用空間部には、前記給水口が前記開口から外部に開口して設けられていることにある。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】

収容空間３０は、左，右方向の中間に位置してアンダカバー１５上に立設された仕切板３１によってタンク用空間部３０Ａとポンプ用空間部３０Ｂとに分けられている。左，右方向の右側（右サイドフレーム１３側）に位置するタンク用空間部３０Ａには、尿素水タンク２５が収容されている。また、左，右方向の左側（右縦板８側）に位置するポンプ用空間部３０Ｂ内には、後述の燃料供給ポンプ３４、燃料吸込口３５、動作スイッチ３７、燃料フィルタ３８、目詰まり表示器３９等が収容されている。